



こぼと

千葉市立第二養護学校

「学校だより」

令和5年12月15日
第8号

教育と共育

校長

師走に入り、いよいよ今年も残り二週間余りとなりました。学校では、あちらこちらでクリスマスの歌声や歓声が少しずつ飛び交うようになり、子供たちもクリスマス单元を楽しんでいるようです。

先日の個人面談では、貴重な時間を割いてご出席いただき、ありがとうございました。ご家庭や学校での様子など、よりよい情報共有ができたこと担任からも聞いております。今後の学校での支援や指導に生かし、子供たちのよりよい成長につなげていきたいと思っております。

先日、初めて担任（特別支援学級担任、当時は特殊学級といわれていました）をした時の恩師（主任）と卒業生のある児童の話をする機会がありました。その児童は、小学校を卒業して約10年後、ロンドンパラリンピック競泳で金メダルを獲得しました。実は、2020年の東京オリンピックも代表に向けて調整していましたが、年齢的な衰えや心身の調整の難しさもあり、残念ながら代表選手となることはできませんでした。ただ、周囲（母やコーチ等）を含め、最後まで頑張ろうとした姿はすばらしかったと話していました。

母は以前、東金市で開催された千葉県特別支援教育振興大会で講演をする機会がありました。その中で、子育てで大切にしてきたもの、目標にしてきたものを以下のように話していました。

- 1 お手伝いする子に育てる
- 2 社会のルールを守る
- 3 出会ってよかったと思われる人になるように、人に愛される人になる
- 4 人に何かをしてあげられる人
(障害がある人はしてもらうことが多い。人に何かをしてあげられたら素敵な人になれる)
- 5 感謝の気持ちを言葉で伝える

日頃から保護者自身も、本人の前でこれらを意識し、実践されてこられたそうです。「子供は親のいうとおりに育たない。親のしたとおりに育つ・・・親の後ろ姿をみて育つ」とはよく言ったものです。

毎年、小学校時代の卒業生たちと4月の1週目の日曜日に花見をしています。毛筆の個展を開いたり、音楽家となり家族でコンサートを行ったり就職したり・・・と、それぞれですが、みんな立派になったと顔を合わせるたびに思います。これらの保護者の方々に共通しているのは、金メダルを獲得した卒業生同様、やはり目標をもって一緒に、共に取り組んできたということです。小学校時代から目標をもって一緒に一つ一つ取り組んできたことがやがて芽を出し、花を咲かせるのだと実感しています。学校現場もそうですが、まさに教育＝共育（共に育つ）だと、私は考えています。ぜひご家庭でも、共育していきましょう。

子供たちにとって、保護者の皆様にとって楽しい年末年始になること、そして来年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈っています。

来年もご支援ご協力よろしくお願いいたします。

みなさん、
よいお年を！
来年は
辰年だよ！



1 月行事予定

月	火	水	木	金	土
1 元日 冬季休業 (5日まで)	2	3	4 学校閉庁日	5	6 
8 祝 成人の日	9 冬休み明け初日 短縮日課	10 給食開始 発育測定6年	11 発育測定5年	12 発育測定4年	13
15 発育測定3年	16 発育測定2年	17 授業参観週間 (19日まで)	18	19	20
22 発育測定1年 PTA理事会⑤ スクールバス 運営委員会②	23 発育測定1年	24	25 6年やまばとフェスタ	26	27
29 こばと発表会 特別日課開始	30	31 学校保健委員会②			

こばと発表会について

「こばと発表会」を2月15日(木)と16日(金)に行います。子供たちの発表の姿をぜひご覧ください。詳しい内容については、1月に配付予定の案内(手紙)でご確認ください。

学校評価アンケートについて(12月19日配付 1月12日提出締切)

今年度も、学校評価アンケートを実施させていただきます。児童主体の学校生活づくり、開かれた学校づくりをさらに進めていくために、保護者の皆様のご意見を来年度の教育活動に生かしていくことが大切なことと考えています。アンケートの項目は、今年度の学校行事などの取組を、お子さんの一年間の成長と照らし合わせて評価をしていただければと思います。

アンケート用紙は、封筒(学校で配付)に入れて1月12日(金)までに提出をお願いします。なお、アンケート結果につきましては、後日報告させていただきます。

お忙しいこととは思いますが、ご協力をよろしくをお願いします。

就学奨励費の1回目の振り込みについて

今年度1回目の振り込みを11月下旬に行いました。次回の振り込みは2月を予定しています。口座を変更する場合は、事務室へご相談ください。

スクールバスへの安全な乗車について

いつもスクールバスの安全や定時運行等に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

先日、バスに乗ることを楽しみにしている児童が待ちきれず、バスに接近してくる様子が見られました。今のところ事故は起きていませんが、バスが完全に停車して扉が開くまでは安全な場所に下がって手をつなぎ、周囲を確認してから乗車できるようにお願いします。